

**競輪公益資金による補助事業**  
**平成26年度引きこもり・不登校に対する支援活動補助事業**  
**公益財団法人こども教育支援財団**

**《1》 補助事業の概要**

(1) 事業の目的

小中学校における不登校児童生徒数は119,617人(前年度112,689人)であり、不登校になったきっかけと考えられる状況は不安など情緒的混乱28.1%、無気力25.6%、いじめを除く友人関係をめぐる問題15.0%等です。(文部科学省初等中等教育局児童生徒課「平成25年度児童生徒の問題行動等生徒指導の諸問題に関する調査」について 平成26年10月公表、(訂正值反映)12月公表より)

本事業はこのような不登校の小中学生が、この事業のグループワークを経験することで得られる成功体験や達成感を通して、ひとり1人の自己有用感や自己肯定感を涵養することを目的としています。あわせて、高校生ピアアシスタントやメンタルサポーターが、「ななめの関係」でかかわることにより、不登校の小中学生が、より具体的に進学や将来のビジョンを持ち、学校復帰に対しても前向きに考えられるようになることを目的としています。

(2) 実施内容

子ども達や保護者の方の自信がわいてくるように

**事前オリエンテーション+キャンプ(2泊3日のグループワーク)+思い出振り返り会**  
に分けたステップアッププログラムを実施しました。

**【子ども達に】**



①事前オリエンテーション



②知り合いづくりワーク



③ 2人組での協力し合うワーク



④ グループ（5～7人）での協働体験



⑤ チーム対抗ワーク



⑥ 集団でのワーク



⑦ 自己有用感を育むワーク



⑧ 思い出振り返り

【保護者の方に】



⑨ 保護者カウンセリング

## 《2》 予想される事業実施効果

- 不安を抱えながらも、事前オリエンテーションを通して参加できたことが達成感につながりました。
- 「出来た体験」と「達成感」によって、自尊感情が高まり、結果として学校復帰の意欲や自分の将来に対する期待が高まりました。
- 「思い出振り返り会」によって、事業によって高まった自尊感情を維持することが出来るようになりました。
- 参加した小中学生が大学生や高校生とかかわることで、具体的な進学イメージを持ち、より学校復帰を現実的に考えられるようになりました。
- 高校生や大学生にとって、小中学生をサポートする経験は、自己有用感や自尊感情を高めることができました。
- 保護者がこの事業に参加することによって、他の子どもを客観的に見る機会や子どもと距離を置いたところでワークショップを行うことで、子どもの良さを再認識したり、子どもの多様な育ちを受け止めたり、子育てに前向きになることが出来るようになりました。

## 《3》 本事業に係る成果物

- (1) 補助事業により作成したもの

### キャンプちらし(近畿圏)



## キャンプちらし(首都圏)



## こどもの自尊感情を高める「親子体験教室実施結果のご報告」



### 《4》 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益財団法人子ども教育支援財団（コドモキョウイクシエンザイダン）

住所： 〒111-0052

東京都台東区柳橋2-4-1

代表者： 理事長 大橋 博（オオハシ ヒロシ）

担当部署： 事務局（ジムキョク）

担当者名： 事務局長 小野 厚治（オノ コウジ）

電話番号： 03-5823-2566

F A X： 03-5823-2577

E - m a i l： k.ono@kodomo-zaidan.net

U R L： <http://www.kodomo-zaidan.net/index.html>



この事業は競輪の補助を受けて実施しました。  
<http://ringring-keirin.jp>



## 競輪補助事業完了のお知らせ

この度平成26年度の競輪の補助事業を受けて、下記の事業を完了致しました。  
本事業の実施により、学校に通いづらい子ども達がキャンプを通じて自信を回復し、学校復帰へとつなげました。

ここに事業完了のご報告を申し上げますとともに、公益財団法人JKAをはじめ、ご協力を賜りました関係者の皆様に謹んで感謝の意を表します。



### 記

1. 事業名 平成26年度引きこもり・不登校に対する支援活動補助事業
2. 事業の内容 親子宿泊体験教室
3. 補助金額 1,431,073円
4. 実施場所 (キャンプ会場として)  
【首都圏】千葉県少年自然の家(千葉県長生郡長柄町針ヶ谷字中野 1591-40)  
【近畿圏】明石立少年自然の家(兵庫県明石市大久保町江井島 567)

他

5. 完了年月日 平成27年3月3日



公益財団法人 こども教育支援財団  
理事長 大橋 博